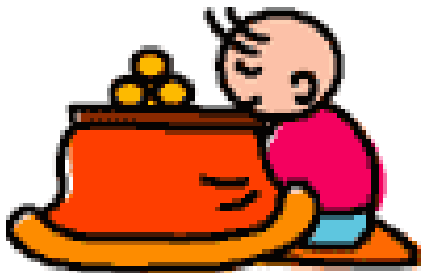


相談室だより (米の山) 2011年2月

担当：米の山病院 MSW 渡辺

まだまだ寒い日が続いていますが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか？
寒さ対策を充分にして風邪には注意しましょうね。
さて今回の相談室だよりは、1/22 に実施しました「塵肺・石綿肺」検診と「無料低額診療事業」
についての2本立てで書いていきたいと思ひます。
お付き合いのほどよろしくお祈ひします。



「塵肺・石綿肺」検診を行いました

1/22(土)に野ばら診療所で「塵肺・石綿肺」検診を行いました。この検診は1990年から行われ、今回で23回目となります。今まで22回におよぶ地域検診を大牟田・荒尾地区で実施し延べ2000人以上の労働者が受診に訪れています。主な受診者は元炭鉱労働者が多くを占め、その他では隧道・築炉・建設関係などの様々な粉塵作業に従事された労働者の方が多く受診され、潜在患者さんは後をたたないのが現状です。また、最近では石綿を多く使用した、造船、配管などの関連作業に関わった労働者の検診も増えてきています。両被害の病気の特徴として粉塵、石綿現場を離職した後から一定の年月をへて発症し重症化することが多いことです。一般的には喘息や慢性気管支炎といった診断を受けて治療しており、職業病として労災申請等の手続きの援助を知らないままに放置されているのが現状です。

今回は相談者を含め26名の方が受診されており、塵肺4名・石綿肺7名の合わせて11名の方が有所見者となっています。石綿手帳申請可能者も6名ほどおられました。石綿手帳を取得することにより、塵肺は年に1回・石綿肺は年に2回ほど無料検診を受けられるというメリットがあります。是非この取り組みをお知らせし、石綿手帳の申請に取り組んでいけたらと思ひます。



院長をはじめ多くの職員が検診に参加しましたが、今回はじめてこの検診に参加した職員からは、「労働者から直接話を聞いてタメになった」「患者さんからの労働条件だったり、生活環境だったりがあり参考になった」などの声も聞かれました。以前に書いた「生活・健康・労働」相談会や今回の「塵肺・石綿肺」検診もそうですが、継続してこういった活動に取り組んでいくことが非常に大事だと思ひます。まだ参加されたことのない職員も多数おられると思ひますが、一度参加されると、違った角度から患者さんを見ることができるようではないでしょうか。

大牟田・荒尾・玉名周辺には、まだまだ数多くの元炭鉱労働者やアスベスト関連職場で従事された労働者がおられます。これからもこの検診を取り組み、広報していきたいと思ひます。



「無料低額診療事業」はじめました！

「無料低額診療事業」というものをみなさんをご存知でしょうか？第2種社会福祉事業の一つで、失業者や生計困難者のために無料又は低額な料金で診療を行う事業のことをいうのですが、この度米の山病院でも、この無料低額診療事業を行うことが決まりました。

生活困窮者が医療費窓口負担の支払いができないために受診抑制となるケースが増大しているなかで、この無料低額診療事業は、「いつでも、誰でも安心してかけられる医療」が行えることとなります。

私は以前にAさん（56歳・男性）の事例を担当しました。Aさんは会社をリストラされ、失業保険で生活されていました。体の痛みがあったようですが、失業していることもあり医療費の支払いができないため病院にかかることができない状況でした。唯一お風呂がてら温泉治療をされていたが、あまりにも痛みが強くなったため、受診されたのですが、そのときには癌が体中に転移していました。すぐに入院となりましたが、入院後2ヶ月もせず他界されてしまいました。もう少し早くこの無料低額診療事業が開始されていれば、と思われてなりません。こういったAさんのような悲惨な事例が二度と起きないように、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。

「無料低額診療事業」の対象者としては、ホームレス、外国人労働者、ネットカフェ難民、DV被害者などで、医療費の支払いに困っている方 保険証を持っていない、あるいは国民健康保険の短期保険証や資格証明証が発行されている方 病気や自然災害、失業等により一時的に収入がなくなったり、減少した方 年金収入だけで生活をやりくりし医療費の支払いに困っている方 治療により高額な自己負担が生じた方 その他これらに準ずると認められた方などです。

「無料低額診療事業」を利用するにあたっては、ある一定の基準がありますので、誰でも利用できるというわけではありませんが、「無料低額診療事業」を利用されたい方や詳しく知りたい方は、受付またはMSWまでご連絡してください。



毎年2月に行っていた、米の山病院地域医療・介護連携懇親会が今年は3月10日(木)に行うことが決まりました。今回からは介護関係の参加がしやすいように、懇親会名に介護をくわえさせていただきます。地域医療連携室では準備に大忙しです。

インフルエンザが流行しています。手洗い・うがいをわすれずにね。



病院機能評価 Ver6.0 がよいよ迫ってきました。顔(o)写真や名前の掲載もされるようです。2/24からは第2回の模擬審査も行われます。残された時間もあとわずかですが、ラストスパートでがんばりましょう。

09年度版、米の山病院の年報を現在作成中です。もうすぐみなさんにも紹介できるとおもいます。期待?しててください!!!

